

FGFR2 融合遺伝子（胆道癌）FISH 法		P000052		
		担当部署		
FGFR2		病理		
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項		該当なし		
オーダーリング手順	1	サイボウズ→ファイル管理→54. 病理診断科→遺伝子解析依頼申請書→ ※専用依頼書が必要		
	2			
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		1) 10%中性緩衝ホルマリンの固定時間が6時間未満48時間以上 2) 未染スライドで6週間以上放置されていたもの 3) コーティング加工がされていないスライドガラス		
検査受付時間				
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		手術、及び内視鏡、穿刺等の侵襲的検体採取では様々な準備が必要となるため、各々の担当医師、担当看護師等の指示に従う。		
検体採取の特別なタイミング		治療の前		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1 未染スライドガラス	容器番号 30 遺伝子検査用標本スライド容器	無	3	枚
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
検体搬送条件		室温		
検体受入不可基準		オーダーがない。		
保管検体の保存期間		パラフィンブロック：半永久		

						* 保管検体から再検査をオーダーする場合は要連絡					
検査結果・報告											
検査室の所在地				病院棟 3 階 病理診断科							
測定時間				8～14 日							
生物学的基準範囲				該当なし							
臨床判断値				陽性 陰性							
基準値								単位		該当なし	
共通低値		共通高値		男性低値		男性高値		女性低値		女性高値	
該当なし		該当なし		該当なし		該当なし		該当なし		該当なし	
パニック値		高値		該当なし							
		低値		該当なし							
生理的変動要因				該当なし							
臨床的意義				FGFR2 融合遺伝子は胆道癌におけるドライバー遺伝子として知られており、本検査は、「がん化学療法後に増悪した FGFR2 融合遺伝子陽性の治癒切除不能な胆道癌」に対して「タスルグラチニブコハク酸塩(商品名：タスフィゴ®)」の適応の判定を補助するために用いるコンパニオン検査です。							